

神戸甲北一千種 ピンチでマウンドに集まるエース戸井(中央)ら千種ナイン=尼崎・ベイコム



部員13人健闘 千種の夏短く

エース戸井意地の10K

神戸甲北5-3千種

八回2死満塁。10個目の三振を奪った会心の直球が、3年間で締めくくられる1球になった。「粘り強く戦えた」。千種のエース戸井は、敗れた悔しさとともに達成感をかみしめた。

部員13人のうち3年生は2人。「人数が少ない分、ほかのチームより練

習できるし、気持ちも統一できる」。背番号7の亀井とともに小所帯のチームを引っ張ってきた。

2年生主体の守備陣は硬さが否めず、5失点はすべて失策絡み。それでも戸井は「気持ちは引くな。前に出る」と自らの力投で鼓舞し続けた。

八回、来年のエース候補の2年生山田正が、豪快な左越え本塁打を放った。「お世話になった3年生のためにも打ちたかった。戸井さんのように、ここぞで抑える投手になる」。背番号1の思いはしっかりと後輩に受け継がれた。

(永見将人)

14安打の猛攻 琴丘逃げ切り

琴丘 丘5-2伊川谷北

琴丘・堀良介主将(エースとして2失点完投)「先制してくれたので、緊張せずに投げられた。あまり打つチームではないのに全員が活躍した。次も全員で点を取り、粘って勝ちたい」